

- 2012年1月1日から2020年12月31日まで岡山大学病院 消化器内科において当院においてERCPを施行しSwing Tipを使用された方  
^ -

「ERCP関連手技におけるSwing Tipの有用性」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
研究科長 那須 保友  
岡山大学病院  
病院長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院 消化器内科  
助教

加藤 博也

## 1. 研究の概要 (研究の背景、目的及び意義)

内視鏡的逆行性胆膵管造影(ERCP)は、胆道や膵管の疾患においてはかかせない検査、治療手技ですが、手技的に困難な部分も多く、処置を完遂できない症例も存在します。難しい症例においてSwing Tipというカテーテルを用いることで検査をスムーズに進めることができることがあります。当院でERCPを受けられた方で、Swing Tipを使用した方のカルテ情報を解析し、その有用性について検討します。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2012年1月1日から2020年12月31日まで岡山大学病院 消化器内科において当院においてERCPを施行しSwing Tipを使用された方100人を対象とします。

### 2) 研究期間

2017年4月21日 ~ 2021年12月31日

### 3) 研究方法

対象となる患者様のカルテ情報より、背景（年齢、性別、既往歴など）、手技内容、有効性、安全性、術後経過などを調査します。

### 4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、連結可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

## 5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学消化器肝臓内科学教室医局内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたが希望される場合に行います。この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年1月31日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院

助教

加藤 博也

電話：086-235-7219（平日8:30～17:00）FAX：086-225-5991

学内内線番号：7219

PHS：3827

e-mail：katou-h@cc.okayama-u.ac.jp